令和３年度　入学生用　〔　公　民　科　〕　シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
公民	政治・経済	3	選択科目	3年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	教科書をもとに知識を身につけ、その知識を活かして、社会問題について知恵を絞り考える。 政治や社会に対して、主権者としての関わりを考える。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。

以上の観点をふまえ、
・知識の修得とその活用に取り組む姿勢を、定期考査、授業や課題への取り組みによって総合的に評価します。

担当者から

教科書を中心に政治および経済の用語を学ぶことで、社会の諸課題に関心を持つようになる、これが第一の学習の目的です。
そのうえで、社会の諸課題に対して、政治や自分たちがすべきことは何かを考える、これが第二の学習の目的です。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元（題材）の評価基準	評価方法
4	第1編　現代の政治	第1章　民主政治の基本原理と日本国憲法	政治と法の機能	○								・日本国憲法の理念と基本的人権について理解し、憲法や法律、政治に関わる諸課題に対して、主体的に考えられる。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治、選挙のしくみを理解し、主権者として政治について考えられる。	定期考査、授業参加 グループ活動、レポート
4			人権保障と法の支配	○									
4			議会制民主主義と世界の政治体制	○									
4			日本国憲法の基本原理	○									
5			平和主義と自衛隊	○									
5			基本的人権の保障と新しい人権	○									
5			国会の組織と立法	○									
5			内閣の機構と行政	○									
6			裁判所の機能と司法制度	○									
6			地方自治制度と住民の権利	○									
6			政党政治と選挙制度	○	○		○						
6			民主政治における世論の役割	○	○		○						
6		第2章　現代の国際政治と日本	国際社会と国際法	○								・国際法と国際連合のしくみを理解し、世界の諸課題について、主体的に考えられる。	
7			国際連合の組織と役割	○									
7			国際政治の動向	○									
7			国際紛争と難民問題	○	○		○						
7			軍備管理と軍縮	○	○		○						
8			日本の外交と国際平和への役割	○	○		○						
9	第2編　現代の経済	第1章　現代経済のしくみと特質	経済社会の発展	○								・経済のしくみを理解し、これからの経済社会のあり方や諸課題について、主体的に考えられる。 ・農業、社会保障、環境について、現状と課題を理解し、これからのあり方について、自分の考えを述べることができる。	
9			経済主体と経済活動	○									
9			市場経済の機能と限界	○	○								
9			経済成長と景気変動	○		○							
10			物価の動き	○		○							
10			金融のしくみとはたらき	○		○							
10			財政のしくみとはたらき	○		○							
10			日本経済の歩み	○									
10			中小企業の地位と役割	○	○								
11			農業の現状と課題	○	○								
11			消費者問題	○									
11			高度情報社会の進展と課題	○	○								
11			労働問題	○	○								
12			社会保障制度の充実	○	○		○						
12			環境保全と資源・エネルギー問題	○	○		○						
12		第2章　国民経済と国際経済	国際経済のしくみ	○								・国際経済のしくみ、グルーバル化する経済の動向を理解し、これからの国際社会の変容を予測して、日本のあり方について考えられる。	
12			国際協調と国際経済機関の役割	○	○		○						
1			地域的経済統合	○									
1			グローバル化する経済	○									
1			南北問題と日本の役割	○	○		○						